

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

3つの基本方針  
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
2 地 域 で の 取 組	4	12	(2)公民館での子ども読書活動の推進		常盤公民館	ともたち文庫	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、お絵かき、工作などを行う。	ともたち文庫のボランティア(世話人)が幼児から小学生までを対象に、読み聞かせと工作・お絵かき・科学あそびなどを行った。令和元年度は31回実施し、延べ469人が参加した。	B	館報への掲載やチラシを配布したことにより、参加者を順調に集めることができた。また、活動日以外にも、本を借りに来る子どもたちがおり、読書活動の推進を図ることができた。	B	前年度と同様に、ボランティア(世話人)と協力して、多くの子どもたちが「ともたち文庫」に参加するよう、読み聞かせ・工作・折り紙・科学あそびを行う。
					南箇公民館	コスモス文庫	読書ボランティアによる本の貸出し・読み聞かせ・お絵かき・工作などを行う。	地域のミニ図書館として幼児や小学生に本を貸し出すだけでなく、文化祭では工作を教えるなどボランティアが熱心に活動してくれた。そのおかげで子どもたちが読書や工作を通じて成長していったように思われる。令和元年度は、年38回実施し、延べ562人が参加した。	B	館報への掲載やチラシを対象地域に配布したことにより、参加者も順調に集まり、読書活動の推進を図ることができた。令和2年3月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館が休館になり、実施回数・参加者延べ人数が、前年より少なかったのは残念である。	B	ボランティア(世話人)と協力して、多くの子どもたちが「コスモス文庫」に参加するよう、本の貸し出し、読み聞かせと併せて、工作・科学遊び・折り紙を行う。また、季節ごとに実施している地域行事や公民館行事も内容を工夫しながら継続していく。
					谷田公民館	のびのび文庫	本の貸出し、読み聞かせ、工作教室等を通じて、地域の子どもの情操を育て、健全な育成を支援する。	読書ボランティアによる本の貸出し、読み聞かせ、ことば遊び、工作などを行った。34回実施し、延べ参加者数は326人であった。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を一部中止したことから、実施回数及び参加者数は減少したが、制作した工作や絵を公民館のロビーに掲示したことや、季節を感じられる作品づくりが利用者に喜ばれた。また、本の貸出しや読み聞かせなどにより、読書活動の推進を図ることができた。	B	地域の子どもの情操を育て、健全な育成を支援するため、昨年度と同様の内容及び同程度の開催頻度で、引き続き事業を実施する。
					別所公民館	すぎのこ文庫	地域の子どもたちの健やかな成長を願い、絵本や図鑑など児童図書の出貸、ボランティアの指導による簡単な工作「楽しい工作」を実施する。	図書ボランティアによる本の貸出し、工作などを行った。22回実施し、延べ参加者数は222人であった。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を一部中止したことから、実施回数及び参加者数は減少したが、図書ボランティアによる本の貸出し、工作などは利用者により喜ばれ、読書活動の推進を図ることができた。	B	引き続き、昨年度とほぼ同数の参加者を目指して事業を継続する。
					東浦和公民館	にこにこ文庫	本の貸出し、読み聞かせ、本の紹介、わらべ歌・手遊びの指導、工作などを行う。	幼児・小学生とその保護者を対象に20回実施し、延べ参加者数は349人であった。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を一部中止したことから、実施回数及び参加者数は減少したが、子ども文庫スタッフによる本の貸出し、読み聞かせ、手遊び、工作などは利用者により喜ばれ、読書活動の推進を図ることができた。	B	今年度も多くの子どもたちに参加してもらえよう、公民館だよりへの掲載やチラシの作成により周知を図り、実施を継続する。
					大古里公民館	みむろ文庫	公民館グループ「みむろ文庫」による本の貸出しと読み聞かせ、工作などを行う。	今年度は、10月12日が台風のため、2月29日～3月28日が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、当初47回の実施予定が41回となってしまったが、幼児と保護者・小学生を対象を対象に開催し、延べ参加者数は674人だった。	B	昨今の小学生は本を読まなくなったと言われて久しいが、みむろ文庫に来る幼児・児童は、ほとんどが毎週来館し、その場で楽しそうに本を読んだり、借りて帰ったりする姿が見られ、昨年度より参加者数も増加した。「読書の推進」だけでなく、「子供の居場所を提供する」という意味でも大切な役割を果たした。	B	「子供の居場所づくり」、「読書の重要性」に重きを置き、より多くの方に参加していただけるようPR等に努める。
					尾間木公民館	ひだまり文庫	公民館グループ「ひだまり文庫」による本の貸出しと「読み聞かせ」や工作などを行う。	小学生、乳幼児の親子を対象に、4月から3月まで18回実施した。延べ参加者数は600人だった。	B	乳幼児の親子の参加が増えているため、「読み聞かせ」の大切さなど内容に取り入れたので参加者には好評で、子育て世代の交流の場として定着してきたため。	B	リピーターを更に増やし、「読み聞かせ」の大切さを重点に置いて実施していく。
					本太公民館	ぶんぶん文庫	本太公民館グループ「ぶんぶん文庫」による小学生を対象にした、本の貸し出し、読み聞かせ、工作、季節行事等(月2回程度)を行う。	毎月第2・4木曜日に本の貸出しや工作、ゲームを行った。参加者も多く好評だった。令和元年度は年16回実施し、延べ参加者数は1,156人だった。	B	チラシの小学校への配布、公民館だよりの掲載等を行い、順調に参加者が集まり、読書活動の推進を図ることができた。	B	今年度も引き続き実施する。今後も広く周知を行い、読書に親しみ、工作や季節行事を通じて、地域の子とも大人との交流を深めていきたい。
					栄和公民館	ハッピー子育てサロン	さいたま市よい本を読む運動推進委員会委員の協力による乳幼児向けの本の紹介及び読み聞かせを行う。	「ハッピー子育てサロン」(全5回)のうち、1回でさいたま市よい本を読む運動推進委員会委員による絵本の読み聞かせ・紙芝居等を実施の予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。	-	中止。	B	子育て支援センターとの共催により、サロンの開催回数は増やしていくが、読み聞かせの実施回数は公民館地区内の図書館の事業と重なるため現状維持とする。
					岸町公民館	親子おはなし会「おはなし玉手箱」	小学生・幼児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、お絵かき工作などを行う。	さいたま市よい本を読む運動推進委員会のメンバーが月1回(8月、3月を除く)絵本を講師に絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単な工作などを行った。令和元年度は10回実施し、延べ116人参加した。	B	チラシを幼稚園、保育園、小学校の低学年を対象に配布し、「岸町公民館だより」にも掲載したことにより、参加者も順調に集まり、事業が実施でき、読書活動の推進を図ることができた。	B	今年度も引き続き実施する。今後も広く周知する予定。新しいカリキュラムを取り入れるなどして、これまで参加したことのない方の参加を促したい。読書に親しみ、おはなしや工作を通じて、地域の方がふれあいを有する貴重な機会なので気軽に参加できる工夫をしていきたい。
浦和南公民館	南Happy子育てライフ前期・春「読み聞かせ・手遊び・折り紙」	1歳から4歳までの幼児と保護者を対象に読み聞かせ手遊びなどを行う。	5回連続講座の中の一つとして、さいたま市よい本を読む運動推進委員会のメンバーを講師に絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単な工作などを行った。12組の親子延べ22人が参加した。	B	公民館だよりへの掲載や子供のサークル等にチラシを配布したことにより、参加者も順調に集まり実施することができた。読書活動の推進を図ることができた。	B	読み聞かせが好評なので、今年度も引き続き実施する。					
	夏休み子どもわくわくランド「ほんらんど」	小学生を対象とした絵本の読み聞かせ、紙芝居、簡単な工作を行う。	「おはなしグループののほな」による、絵本の読み聞かせ、紙芝居、工作などを行った。23人が参加した。	B	学校へのチラシの配布、公民館だよりの掲載を行った。熱心に耳を傾ける姿も見られ、読書活動の推進を図ることができた。	C	数年継続して同内容の講座を実施しており、毎年の申込み数からみて、この枠での読書活動の推進はある程度達成されていると思われる。今後はこの枠内での実施は縮小したい。					

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

3つの基本方針  
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
2 地域 での 取組	4	12	(2)公民館での子ども読書活動の推進	六辻公民館	おはなしのへや	「ののほな」の皆さんによる、絵本の読み聞かせ、手遊び、簡単な工作などをしながら、親子や参加者同士のふれあいの場を提供する。	乳幼児の親子を対象に4月から12月まで7回実施した。延べ参加者数は244人であった。	B	風邪などの流行する時期を避けるため、開催月を変更し開催回数を1回減らしたが、各児童センターにチラシの配布や公民館だよりで開催日を掲載した。延べ参加者数は244人と、ほぼ例年通りの参加者数で、利用者に喜ばれているため。	B	子育て世代の交流の場として定着しているため、前年度と同様の内容及び同程度の開催日数で、引き続き事業を実施する。	
				針ヶ谷公民館	ママといっしょにワクワクおはなし会	読書ボランティアによる本の読み聞かせを行う。	「おはなしグループたんぼぼぼっけ」による絵本の読み聞かせや手あそびを行った。2組の親子が参加した。	C	公民館だよりへの掲載や来館者へのチラシ配布をした。参加者は楽しんでしたが、結果として参加者の増加につながらなかったことが反省点である。	C	子育て世代の交流を深めるといった観点から、1年を通して定期的な講座を開催したい。今年度は専門機関(図書館)との連携を模索して他の形で講座を実施したい(事業名を「針ヶ谷えほんサロン」に変更)。	
				日進公民館	絵本の読み聞かせ	本との出会いにより感情や情緒を育むため、乳幼児とその親を対象に、図書館職員による読み聞かせや手遊びなどを行う。	大型絵本の読み聞かせ、わらべ歌あそび、大学生ボランティア活用、絵本の紹介資料の提供を行った。	B	定員15組のところ13組の参加であり、「熟練された講師と学生のチームがよい」「大学生がいるのはすごくよい」という理由により、満足度が96%で、目標に達成したため。	B	昨年と同数の参加者と講師の専門性を活かし、大学生の活用による効果的な講座の実施を目指して継続して実施する。	
				大宮南公民館	ぶれひよこ学級1	図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行う。	本の読み聞かせ、手遊び、親子ピクスを行った。	B	定員10組のところ6組の参加であったが、参加者満足度は高かった。	B	参加者に好評のため、他の講座と組み合わせ継続する。	
					ぶれひよこ学級2	図書館職員による読み聞かせ・手遊び・紙芝居等を行う。2回目はペビーダンスを行う。	本の読み聞かせ、手遊び、ペビーダンスを行った。	B	定員10組のところ8組の参加であったが、参加者満足度は高かった。	B	参加者に好評のため、他の講座と組み合わせ継続する。	
				土合公民館	遊びと絵本のつどい	絵本の読み聞かせなどから、本に親しみ、簡単な工作を通して交流する	5.7.1月の土曜日、乳幼児とその保護者、小学生を対象に開催した。参加延べ人数は29人。また文化祭にも参加した。	C	講師の都合や台風の影響で日程変更したり、第4回の講座を感染症予防対策から中止したため参加者が少なかったのが残念であった。	B	今年度も引き続き実施し、参加者数が増加するように周知方法を検討する。	
					なかよし文庫サロン	なかよし文庫と連動して絵本の読み聞かせ・わらべ歌・人形劇・ミニコンサートなどを行い、講座後は地域の交流の場とする。	中止。	-	中止。	C	終了	
					なかよし文庫	地域のボランティアが週1回、絵本・児童図書等の貸出しを行い、読書推進を行う。	ほぼ毎週木曜日(祝日・年末年始を除く)42回の貸出しを行い、1,447人の利用者があった。	C	第43回～第46回の講座を感染症予防対策から中止したため参加者が少なかったのが残念であった。	B	今年度も引き続き実施し、参加者数が増加するように周知方法を検討する。	
				大宮東公民館	おはなしひろば	子育て支援のためのボランティアによるお話し	読み聞かせボランティアによる読み聞かせ等を行った。	B	参加人数は少ないが、その分ひとりひとりに目が届き、満足度が高い。	B	参加者に好評のため、継続する。感染症拡大防止のため、回数を6回から2回に減らす。	
				田島公民館	おひさま文庫	子どもの読書活動の機会を増やすため、絵本や児童書の貸し出しを行う。また、季節の行事や簡単な工作なども行う。	原則、毎月第2・4土曜日に合計21回実施し、延べ920人の利用があった。	B	2月・3月は、感染症拡大防止のために実施できない回もあったが、1回あたりの平均利用人数が前年度とほぼ同数となったため。	B	今年度も公民館だよりなどでの広報を継続して行い、利用者数の維持を目指す。	
岩槻本丸公民館	夏休み「絵本のひろば」	本との出会いにより感情や情緒を育むため、幼児とその親を対象に、読み聞かせサークル「おはなしポケット」による読み聞かせを行う。	読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを行った。	B	当日の自由参加で、定員40名のところ24名の参加があり、前回の参加者数15名を上回ったため。	B	公民館事業によって派生したボランティア団体の活動であり、団体活動の継続支援も含め継続する。					
		夏休み子ども公民館「読書感想文を書こう！」	岩槻図書館との共催事業として、小学生を対象に、夏休みの宿題である読書感想文の「本の選び方」や「感想文の書き方」について図書館司書から学ぶ講座を実施する。	小学生低学年及び高学年対象の「読書感想文の書き方」教室(夏休み子ども公民館)を実施した。	B	定員60名のうち、申し込みが57名、当日は46名の参加があったため。	C	令和元年度の開催後、隔年の不定期開催を目指す。				

「さいたま市子ども読書活動推進計画」事業実施状況調査表(公民館)

3つの基本方針  
 (1)楽しむ読書 (2)みんなで読書 (3)支える読

達成度		方向性	
A	目標以上に実施し、想定よりも大きな効果を得ることができた	A	拡大(新規含む)
B	目標どおりに達成し、想定内の効果を得ることができた	B	継続
C	あまり達成できなかったが、実現に向けて着手している	C	縮小(終了も含む)
D	未着手もしくはほとんど達成できなかった		
-	判定不能。災害等の危機管理上の理由により未達成。		

施策	No.	計画掲載頁	施策の内容	所管・関連部署	事業名	事業の概要	令和元年度の事業実績		令和元年度の目標達成度		令和2年度の事業の方向性	
							内容(複数ある場合は分けて記入してください)		達成度	達成度の理由	方向性	方向性の理由
				岩槻本町公民館	親の学習事業「親子で絵本を楽しもう！」	岩槻図書館との共催事業として、未就園児の子と保護者を対象に、絵本の魅力について親の学習プログラムによるワークショップ及び親子参加のおはなし会を実施する。	子育て中の保護者を対象にした「絵本の楽しみ方」についてのワークショップと、親子参加のおはなし会を実施した。	B	定員親子8組のうち、申し込みが9組、当日は7組の参加があったため。	C	令和元年度の開催後、隔年の不定期開催を目指す。	
					いちごサロンおはなし会	岩槻図書館との共催事業として、毎月、親子対象のおはなし会及び子育て中の親同士の交流の場としてあかちゃんサロンを実施する。	親子の交流サロンと幼児向けのおはなし会を実施した。	C	各回定員の親子10組のうち、各回1~3組の参加数であったため。	B	周知方法等再検討し、参加者増を目指して事業を継続する。	
				仲本公民館	親と子の居場所 仲本サロン	3歳までの乳幼児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせや手遊びなどの学びを通じ、親子と親同士の交流を図ります。				A	地域に住む子育て世代の居場所として、絵本の読み聞かせ、手遊びなどの学びを通じ、親子、参加者同士の交流を図ります。	
				浦和南公民館	未定	未定				A	中止となった南Happy子育てライフの代わりとなる事業です。学校との調整ができ次第、実施する予定です。	